



令和3年2月3日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第31号

自分の命は自分で守る

～交通安全に関するKYT（危険予知トレーニング）～

2月1日の学校朝会で、自転車の運転に関するKYT（危険予知トレーニング）の動画を使って、交通安全指導を行いました。

まず、JAFが提供している「危険予知・事故回避トレーニング」の自転車の運転について、一方通行の道路で注意、交差点での車の左折時の注意、歩道での歩行者の飛び出しの3本の動画を見て、どのような危険が潜んでいたのかを考えました。その後、生徒指導主事の濱本先生が、車の運転者の立場から自らヒヤリとした事例を挙げながら、交通安全について自分の命を守るためには、様々な学習が必要であることを指導しました。

蒲刈・下蒲刈は車の交通量は少ないのですが、危険な箇所は沢山あります。例えば、島内は歩道が少ないため、どうしても道路の側道を歩いたり、自転車で通行したりすることが多くなります。このような時は、特に気を付けなければなりません。危険を予知する力を身に付けることは本当に重要です。交通量が多い場所では、交通ルールについての理解も必要です。学校においては、登下校の指導を含めて交通安全指導を行います。ご家庭におかれましてもご指導いただきたいと思います。



特に気を付けたい場面

（1）道路の側道を歩いたり、自転車で通行したりするとき

歩道がある道路では、必ず歩道を通行すること。やむを得ず側道を通行するときには、車の通行に気を付けるとともに、側溝や海などに落ちないように気を付けること。

（2）道路を横断するとき

横断歩道を使って横断すること。歩行者が交通ルールを守っていても事故に巻き込まれることがあるので、十分気を付けること。

（3）自転車に乗るとき

- ①自転車は原則として車道（左側を通行）を走る。歩道は例外です。歩道は歩行者優先です。歩道を通行する場合は、すぐに停止できる速度で車道寄りを徐行すること。
- ②二人乗りや自転車の並進は禁止です。
- ③夜間はライトを点灯すること。
- ④傘さし運転や運転中の電話など事故につながる危険な行動は絶対にしないこと。

（4）路線バスやスクールバスを利用するとき

バスに隠れてまわりが見えにくいので、車などに注意すること。

第 64 回広島県科学賞 県努力賞を受賞しました

本年度は新型コロナウイルス対策のため、4月～5月末まで一斉臨時休業となりました。そのため、夏休みに授業を行ったことから、12日間という短い夏休みになりました。しかしながら、呉市内の小中学生は沢山の科学研究を行い、本校からも第68回呉市児童生徒科学作品展に出品しました。

その中から、2年生 丸山 寧々さんと花浦 陽乃さんの2名が第64回広島県科学賞 県努力賞を受賞することができました。科学研究は、課題発見、課題解決のための解決方法（実験方法）を立案、予想、実験、結果の分析、考察などを経ながら行うという、まさに課題発見・解決学習です。

科学研究に限らず、疑問に思った課題や問題を自分なりに解決するという学習を大切にしてください。今後も期待しています。



呉市	県	作品名	学年	名前
入選	努力賞	滑車の実験 ～重いものを少しの力で持ち上げたい～	2	丸山 寧々
入選	努力賞	こうじの花の咲かせ方	2	花浦 陽乃

新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて

～全学年の道徳の授業で行いました～

1月末、全学年の道徳の授業で、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止について学習しました。現在、新型コロナウイルス感染症は、誰が感染しても不思議ではない状況です。また、感染はウイルスによるもので本人の責任ではないことが分かっていますが、差別や偏見に繋がる言動は世の中には見られています。授業では、日本赤十字社の動画を観て学習を進めました。動画では、病気、不安、差別はつながっていて、それが繰り返されないようにどんなことができるかを考えることが訴えられていました。そして、差別や偏見などをなくすためには、具体的にはどのようなことが自分たちにはできるのかなどについて話し合いました。またまだ世の中には、噂話やSNS等で不確かな情報が見られており、惑わされることもあります。しかし、学習を終えて生徒たちは、落ち着いて冷静に考えて行動することが大切だということを理解できたようです。ご家庭におかれましても、感染症対策はもちろんですが、差別・偏見を絶対に許さないことについても話し合っただけであればと思います。よろしくお願いいたします。

